



## 風船かずら ~ 花言葉「一緒に飛びたい！」~

### 始めませんか！「ゴマ栽培」

6月20日（火）13:30から鈴鹿市石薬師町の倉田農園の農地で、「ゴマ栽培に向けた見学会」が催されました。三重県農林水産部が進める金ゴマ「にしきまる」の産地化と需要拡大をめざす「県ゴマ産地化検討会」の取り組みの一環事業です。倉田農園と亀山市の福祉事業所「夢想工房」が3年前から取り組んでみえます。

夢想工房の佐野さんのお話しでは、1年目はマルチなしで行ったが雑草で苦勞。2年目はマルチを張ったがマルチ間の雑草取りに苦勞し、今年は畝の間に防草シートを敷くことで改善されたそうです。（防草シートは高価らしい・・・）

県からの業務委託を受け、畑の管理や栽培指導を試みえるゴマの総合メーカー九鬼産業の近藤さんからゴマ栽培の現状や方法の説明を受け、播種作業の実習を行いました。



今回のゴマは「にしきまる」という金ゴマの品種。草丈は短く、収量が多く、セサミンの含量が非常に多いそうです。

ゴマの栽培方法はいろいろあるようですが、今回はマルチでの播種作業。穴あきマルチの中に1cmほど穴を掘り、5粒から10粒ほどを種まきします。ビンの中に入れたゴマ種を2mmほど空けた穴からまいていきます。

参加者の中には10年ほどゴマ栽培の経験をされている方もみえ、ゴマ談義に花が咲きました。

現在、三重県内では2トンほどのゴマを20か所で栽培されているようですが、日本は99%以上を南米やアフリカからの外国産（16万トン）に頼っている現状だそうです。九鬼産業で扱っているゴマも2万トン位とのお話しでした。

また、ゴマは水不足に強く、カラカラ天気でも結構育ってくれるそうで、最近の水不足や不順な天候を考えると、これからはゴマ栽培がとても有効な作物として考えられるとのことでした。

今年3月から表参道で販売されている「ごまアイス」も頂きました。美味です。ご馳走様でした！

九鬼産業では、現在、奈良県と三重県でのゴマ栽培の普及に力を入れておられ、県内の生産をもっと増やしたいとのことでした。ゴマ栽培に関心を持たれたら、問い合わせられたらいかがでしょう。「どこにでも技術指導に行く」と近藤さんの頼もしいお言葉でした。

ゴマ栽培に関する相談等は

三重県農林水産部フードイノベーション課 059-224-2391

九鬼産業株式会社 ≪ 九鬼産業株式会社 開発部 059-350-2050 ≫

協議会会員の「八重田ファーム」さんが久居農業屋「みのり」で「金ゴマジェラート」を販売中です。（一個280円）

三重県障がい者就農促進協議会  
〒514-0003  
三重県津市桜橋2丁目142  
三重県教育文化会館1F  
TEL 059-253-4187 fax 059-253-3359  
E-mail [mieshuno@dune.ocn.ne.jp](mailto:mieshuno@dune.ocn.ne.jp)  
HP <http://mieshuno.net/>